

垂水パソコンスクール 生徒募集中

有効期限なし / すきま時間に回数券導入 / 受講可能です!! ※要予約
回数券の期限がないので断然 **お得**

回数券 10,000円
5枚綴り(3,000円×5時間分)

個別授業用の教室を新設しました

ここで**受講・受験**できる
人気の資格はこちら▼

- ▶ 日商簿記検定 **2級・3級**
- ▶ コンピュータサービス技能評価試験
Word・Excel (**2級・3級**)

パソコン初心者用の授業もあります。

スガイ企画株式会社 **垂水パソコンスクール**
南日本銀行の裏 垂水市本町14-2 ☎ **0994-45-5760**

ピアノ教室

入会費 不要 年会費 不要

♪ 幼児から 大人の方まで

♪ ピアノレッスン・ソルフェージュ・楽典・受験対策

♪ レッスン料 (年間44回)
30分 7,000円/月
45分 10,500円/月～

♪ 教室 垂水分室…垂水市田神(タイヨーから車で約2分)
高山分室…肝属郡肝付町後田(国見中学校付近)
出張レッスン応相談(出張料別途)

♪ 連絡先 080-6658-7049(落口)

■ 講師…落口 詩織(おちぐちしおり)
◇ 垂水市出身。桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。
◇ グレンツェンピアノコンクール予選金賞、本選金賞、西日本大会金賞、ピティナピアノコンペティション優秀賞、南日本ジュニアピアノコンクール優秀賞、南日本音楽コンクールピアノ部門優秀賞、ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 鹿児島地区大会銀賞、全国大会出場、鹿児島国際音楽コンクール入賞、いにしへピアノコンクール銅賞、日本クラシック音楽コンクール地区大会好演賞、優秀賞、全国大会第5位入賞、ブルグミュラーコンクール指導者賞受賞、ポーランド国立クラフク室内管弦楽団、鹿児島モーツァルト室内オーケストラ、ポーランドシレジア・フィルハーモニー管弦楽団と共演、イリスレインボーコンサートに出演、片野田音楽アカデミー門下生コンサートに出演、鹿児島新人演奏会に出演。
◇ 現在、鹿児島県文化振興財団アーティストバンク登録アーティスト。
片野田音楽アカデミー高山・垂水分室長。

お気軽にお問い合わせください

正社員・パート

リモート在宅勤務(要相談)
内職さんも**募集**しています。

●自動車部品ハーネス組立・検査

従業員募集!!

待遇 / 各種保険あり・有給あり
休日 / 土・日 夏・冬・GW
長期休暇あり

その他 / 家庭事情、面接の上 相談に応じます
子育て、介護中の方でも自分の都合に
応じて働けます。(1日2~3時間でも相談可)

池田工業株式会社

垂水市市木2169
TEL: 0994-32-5588

今日のごはん 作ります!!

今日は何を作ろうかな?
お祝いしたいけど
お家で食べるのは不安

おうちのごはんの
お悩みに応えます♥

全品持ち帰りOK!!

※コース料理もできます。

♥ご注文はお電話で♥

中華料理 **光華園** 営 11:30~14:00
17:00~21:30
(オーダー20:30まで)
定休日: 木曜日
月曜日は昼のみ営業

垂水市錦江町1-56
(垂水中央病院向かい) TEL 32-5760

第22回

たるみず歴史・文化散歩

前田正名と垂水

前田正名の功績

明治の初め、明治政府の中
枢にあつて日本の殖産興業に
尽力した前田正名は、垂水に
も深い関わりのある人物なの
です。

正名は嘉永三(一八五〇)
年薩摩藩士の家に生まれ、明
治二(一八六九)年にフラ
ンスへ留学し農業政策の研究
に取り組みました。明治十

(一八七七)年に日本に戻った
正名は農商務省に入り、後に
殖産興業のために『興業意見』
を取りまとめました。その後、
山梨県知事に任命後もわらじ
履きで県内を巡視して、蓑笠

知事と呼ばれました。

明治二十五(一八九二)年
頃から日本全国を行脚しなが
ら商工業や農業振興に努め、
共進会や品評会を開き、産業
の改良発達を促す運動を展開
しました。また正名は開田事
業にも力を入れました。

鹿児島との関わり

明治三十三(一九〇〇)年、
根占の横別府の人々は長年の
宿願であった開田事業に着手
しますが、事業は困難をきわ
めました。横別府の『疏水工
事起工百二十年記念式典』資
料によると「事業は、明治

三十年当時数十年前より地区
の水路組合員を始め、村当局
や有志達によって強く望まれ
たところであったが、開墾に
困難な箇所が多く、いつこ
うに完成の日の目を見ることが
出来ず、組合員たちは気力を
失ってしまった。時の有志等
は失意の中にある組合員の姿
に同情して、当時宮崎県の庄
内村に一步園を組織して開墾
中の前田正名翁に相談した。

垂水との関わり

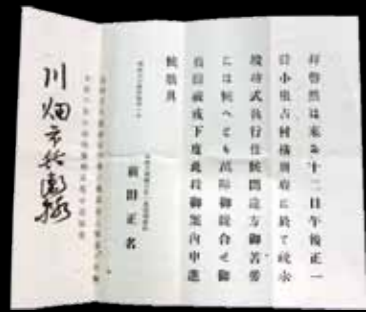
懇談の末、開墾地の水受け反
別の半分を組合員より前田翁
に差し上げることに決まり、
事業を継続することにした。
明治三十四年四月十一日、め
でたく竣工にこぎつけた」と
いったことが記されています。

本町の川畑家には「前田水
路」の竣工式典の招待状が保
存されています。正名から当
主の川畑市兵衛に宛てた手紙
類や掛け軸からはその親密な
関係を窺うことが出来ます。

大竹野川から引いた用水は正
名の功績を記念し「前田水路」
と命名され、現在でも横別府
地区の田畑を潤し続けていま
す。しかし工事費用は莫大で、
当時の一円札を水路に添って
並べたほどの費用がかかった
とも伝えられています。

正名は当時本町で煙草や砂
糖、樟脳取引などで財を成し
ていた川畑家や川井田家とは
産物の品評会・共進会を通じ
て知り合ったと思われる。
この招待状や手紙、掛け軸等
は「前田水路」への財政的支
援をつかがわせる貴重な資料
ともなっており、平成三十年
垂水市の文化財に指定されて
います。

(垂水市文化財保護審議員・瀬角龍平)



▲竣工式典の招待状